歳入歳出予算の概要

平成25年度下水道事業特別会計歳入歳出予算の総額は、16億1,200万円で前年度当初予算16億4,800万円に比べて3,600万円の減となり、伸率は、2.2％の減となっています。

これは汚水枝管整備の建設事業費が増となっているものの公債費が平成３年度において高金利で借り入れた町債について低金利に借り換えを行い減となったこと等によるものです。

事業費については、公共下水道整備により大きな比重を占める下水道建設費等に対し、引き続き受益者負担金を賦課しつつ、収納率の向上を図り自主財源の確保に努めるとともに、建設費の財源の多くを占める町債については、将来を見通した適正な償還計画に基づいた借入れに努め、下水道事業を推し進めることとしています。

維持管理費については、マンホール等の維持管理と相模川流域下水道及び平塚市への維持管理負担金等の支出をします。

公債費については、高金利で借り入れた町債を低金利に借り換えを行い減となっておりますが、町債の返済が現在も重くのしかかり、受益者負担金の徴収率の向上及び下水道への接続の促進を図り下水道使用料収入の増に努めていますが、それでは賄いきれないため、歳入総額の28％を占める一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない状況にあります。

歳入の主な内容については、受益者負担金9,076万円（対前年度伸率138.9％増）、下水道使用料１億9,186万円（同17.9％増）で供用開始区域拡大に伴う増です。国庫支出金２億4,200万円（同18.0％増）、一般会計繰入金４億5,676万円（同5.8％減）、下水道事業債６億660万円（同17.2％減）となっています。

一方、歳出については、下水道建設費が９億2,094万円で、歳出総額の57.1％（対前年度

最近年度予算額

（単位：千円）

年　　度	歳入歳出予算	平成21年度を100とした指数	対前年度伸率
平成21年度	1,437,000	100.0	△23.8 %
平成22年度	1,441,000	100.3	0.3 %
平成23年度	1,434,000	99.8	△ 0.5 %
平成24年度	1,648,000	114.7	14.9 %
平成25年度	1,612,000	112.2	△ 2.2 %

歳入歳出予算　前年度対比表

（歳　入）　　（単位：千円　%）

款　　別	平成25年度		平成24年度		比較増減	対前年度伸率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
1．分担金及び負担金	90,764	5.6	37,987	2.3	52,777	138.9
2．使用料及び手数料	191,868	11.9	162,679	9.9	29,189	17.9
3．国庫支出金	242,000	15.0	205,100	12.4	36,900	18.0
4．県支出金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5．繰入金	456,762	28.3	485,028	29.4	△ 28,266	△ 5.8
6．繰越金	20,000	1.2	20,000	1.2	0	0.0
7．諸収入	4,005	0.2	5,005	0.3	△ 1,000	△ 20.0
8．町債	606,600	37.6	732,200	44.4	△ 125,600	△ 17.2
歳入合計	1,612,000	100.0	1,648,000	100.0	△ 36,000	△ 2.2

※構成比は端数処理の結果、計が符合しない場合があります。

（歳　出）　　（単位：千円　%）

款　　別	平成25年度		平成24年度		比較増減	対前年度伸率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
1．総務費	143,300	8.9	115,684	7.0	27,616	23.9
2．事業費	920,949	57.1	867,538	52.6	53,411	6.2
3．災害復旧費	200	0.0	200	0.0	0	0.0
4．公債費	545,550	33.9	662,577	40.2	△ 117,027	△ 17.7
5．諸支出金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
6．予備費	2,000	0.1	2,000	0.1	0	0.0
歳出合計	1,612,000	100.0	1,648,000	100.0	△ 36,000	△ 2.2

※構成比は端数処理の結果、計が符合しない場合があります。